



代表取締役 社長執行役員

横田 浩

化学を通じて暮らしに役立つ価値を創造する

当社は「化学を通じて暮らしに役立つ価値を創造する」を存在意義と誇っています。トクヤマの良さは真面目で誠実なことだとお客さまから言われていますが、いま社会から求められている諸問題にも誠実に真正面から取り組む会社であり続けるため、CSR 経営の推進に努めています。

**コーポレートガバナンスの強化**

コーポレートガバナンスについては、監査等委員会設置会社への移行以来、より本質的な議論を行うべく社外取締役の方々に対する会議議案や経営課題についてのブリーフィングに時間をかけています。さらに、フリーディスカッションも定期的に行い、その議論を経営に反映しています。また、監督機能を向上すべくモニタリングの強化に取り組んでいます。先般、社外の専門家に委託して、取締役会の実効性評価を行いました。その中で将来のボードメンバーの育成についてご指摘を受けていますので、それも含めてガバナンスの強化を図っていきます。

**レスポンシブル・ケアの推進**

国内外ともに化学物質に対する法的要求事項が増えてきていますので、それらに対応していきます。グループの海外展開の広がりに伴い、国ごとに異なる化学品規制にしっかりと対応していけるよう努力しています。特に新興国では化学物質の処理・廃棄の問題が深刻さを増していることもあり、厳しいルールが定められる傾向にありますので、科学的知見を有する人材を配置していくことが重要です。当社は水と空気にかかわるソリューションを持つ化学メーカーとして、そこはビジネスチャンスでもあり、貢献できることがたくさんありますので、積極的に取り組んでいきます。

**保安防災の徹底**

安全は絶対に守らなければならないものです。進歩が著しいICT やビッグデータも活用しながら、高度かつ効率的で十分な保安防災に取り組んでいきます。経験に加えて

蓄積したデータをさらに活用するプロセスへ改善するなど、万全な保安体制を構築していきます。

**環境負荷の低減への取り組み**

当社は自家発電を強みとしていますが、その一方で、CO<sub>2</sub> の排出削減、排出 CO<sub>2</sub> の有効活用の 2 つを重要課題として、これらをクリアすべく、継続的な取り組みを行っていきます。

環境対応型の製品や事業にさらに積極的に取り組んでいくことも、当社が果たすべき役割の一つだと思います。Close-up 2 (⇒ P.10) でとり上げたイオン交換膜事業では、中国などの環境規制強化をビジネスチャンスと捉え、事業展開を行い、成果が上がってきています。ほかにも、住宅の省エネ性能を高めて CO<sub>2</sub> 排出量を抑制する樹脂サッシ事業があります。いま注目されているゼロエネルギーハウスに欠かせない技術として、ハウスメーカーなどから多くの引き合いをいただいています。当社グループの技術や製品が環境問題の解決にお役に立てていただけるよう、全社をあげて取り組んでいきます。

**社会課題の解決に向けて**

現在、社会課題の解決に向けて、当社グループの事業のマテリアリティ（重要課題）の特定作業を行っているところです。そのプロセスの中で、製品・事業とSDGs とのひも付けを行い、自社の事業が社会課題の解決にどう貢献できているのかを明確にし、全社で共有することとしています。グループ全体を見渡すと、社会に貢献している製品や事業がたくさんあります。それらをわかりやすく整理・開示して、社会にも従業員にも理解してもらえよう努めていきます。

また、組織風土の変革に取り組んでいるところですが、女性活躍の推進などを通じて意識改革を進め、性差や年齢などに関係なく、皆が個性を生かしながら、力を発揮できる明るくはつらつとした会社となって、社会課題の解決に向け力強く歩んでいきたいと思っています。